令和８年１１月１０日

那須烏山市議会議長
相馬　正典　様

（議席番号）　１４番　　平　塚　英　教

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質　問　事　項	質　問　の　要　旨	質問の相手
１　本市隣接自治体『高レベル放射性廃棄物（核のごみ）』最終処分場選定文献調査について	常陸大宮市への高レベル放射性廃棄物（核のごみ）最終処分場設置に関する国の文献調査を開始しているとのことだが、この事業の内容や本市への影響が知らされないまま進められており、隣接する本市及び市民にとって重大な問題である。そこで次の諸点について質問する。	市　長
	①　この『核のごみ』最終処分場選定文献調査の内容並びにこの事業が実際に選定され、この処分場が稼働開始した場合の本市への影響をどのように受け止めているかを伺う。	
	②　市長は、経済産業省や常陸大宮市にも丁寧な説明を求めているが、この事業内容を把握の上、本市市民に対し不安を払拭できる丁寧な内容説明を図られたいと考えるが、市の見解を伺う。	
	③　茨城県知事も栃木県知事もこの事業推進を望んでない見解だが、市長もこの事業の説明不足や不安のある以上、市民の立場に立ってこの事業に反対の行動を起こして頂きたいと考えるが、市の見解を伺う。	
２　ＪＲ烏山線の利用向上対策について	ＪＲ烏山線は、首都圏や県都につながる市民生活にとって欠かすことのできない大動脈であり本市公共交通の要である。ＪＲ烏山線は、開業１００周年を経過しているが、コロナ感染問題前の同路線の利用状況は１kmあたり日平均が１４３０人であったが、コロナ感染問題中１１００人台で推移、コロナ禍後、他の路線は回復しているが、本路線は回復に転じてない状況と聞いている。そこで次の諸点について伺う。	市　長
	①　利用向上対策として通学定期券の補助制度・マイレール運動の利用向上・サイクルトレインの実施・市民号の実施等に取組んでいるが、その実施状況と今後の取組について伺う。	
	②　ＪＲ烏山線は、管轄がＪＲ東日本大宮支社からＪＲ栃木事業本部（宇都宮）に切り替わっているが、今後、関係機関及び沿線自治体と連携して本線の利用向上運動と存続運動を強力に展開して頂きたいと考えるが、市の見解を伺う。	
	③　ＪＲ烏山線のＳｕｉｃａ利用は２０３０年からと聞いているが、本市としてもＪＲ烏山線の市内各駅の駐車場整備拡張や同路線のスピードアップ向上に協力を図り、通勤者への利便性の向上に取り組まれたいと考えるが、市の見解を伺う。	

那須烏山市議会
受付
8.11.10
7

3　増加する県内特別支援学級児童生徒と本市の状況及び課題について	県教育員会は県内公立小中学校の特別支援学級数を発表している。そこで次の諸点について伺う。 ① 本市の小・中学校の特別支援学級児童・生徒の障がいの種別及び児童・生徒数を伺う。また、各学校での具体的な障害状況に応じた対応・支援状況を伺う。 ② 未就学児の心身の発達や特性に応じて支援につなげるための健診は実施されているか伺う。	市　長 教育長
4　身寄りのない高齢者の生活全般を支える包括支援法について	身寄りのいない高齢者の日常生活や入退院、死後の手続きなどを支援する包括的に支援する『社会福祉法』が改正され、県社会福祉協議会に取り組みが義務化された。具体的な業務は委託を受けた各市町の社協が担うものと想定されるが、市の支援業務対策をどのように進めていくのか伺う。	市　長
5　防災集団移転促進事業について	本市の防災集団移転促進事業は、国の同意を得られた宮原地区及び下境地区県道西側の事業が進められている。この事業に関し次の諸点について伺う。 ① 下境地区の移転敷地造成工事に関し隣接する県道改修との整合性及び移転敷地周辺の土地境界等との安全対策を伺う。 ② 残された下境県道東側の移転対象者の移転計画策定を進めて頂きたいと考えるが、市の見解を伺う。	市　長

総計時間	７５分	発言所要時間	４０分	答弁を求める予想時間	３５分